

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-1
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	宇野 伸浩
講義テーマ	先住民族の環境問題
内容紹介	現代社会には、社会の弱者が環境問題の被害者になりやすいという問題があります。そのひとつの例として、政治的な弱者である先住民族が、環境問題の被害者になってしまった例を紹介します。具体的には、マレーシアのボルネオ島に住む狩猟採集民族ブラン人、オーストラリアの狩猟採集民族アボリジニなどのお話をします。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	月曜日午前・午後、金曜日午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-2
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	王 偉彬
講義テーマ	中国の歴史と社会
内容紹介	中国は、昔から黄河文明を基盤として発展してきた東アジアで大きな存在感を持つ国です。この国がどのように変遷してきたのかは、歴史や文明の理解において重要なテーマです。古代には、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明、マヤ文明など多くの文明が存在しましたが、いずれも滅び、復活することはありませんでした。一方、中国文明は、外敵の侵入や国の滅亡を何度も経験しながらも、驚くべき文化的連続性を保ち続けてきました。しかし、中国文明が常に安定的に発展してきたわけではなく、統合と分裂、異民族支配、半植民地化、興隆と衰退といった激動の時代が繰り返されてきました。中国の歴史にはいくつかの特徴的なパターンが見られ、そのパターンは約1000年単位(±200年)に区切って見ることができます。 1.封建社会の形成と崩壊(周の時代:前11世紀～前3世紀) 2.統合と分裂の繰り返し(秦～五代十国) 3.漢民族と北方民族の交替支配(宋～清) 4.海側からの衝撃と革命の時代(近代～現在) 中国の歴史と社会を文明論的視点から解説します。
必要な機材など	パワーポイント使用
出張講義可能日	月曜日午後、金曜日午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-3
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	佐渡 紀子
講義テーマ	核兵器はどこまで規制できたのか
内容紹介	核兵器のもたらす被害が深刻であることは、多くの人が共有する事実です。しかし、国家間関係が緊張状態になると、核兵器を開発したり、核兵器の使用をほめめかしたりする国があることもまた、事実です。核兵器はどこまで規制が進み、何が更なる規制を困難にするのでしょうか。課題を乗り越える知恵はあるのでしょうか。この講義で、核兵器をめぐる近年の動きを通じて、国際社会がどのような性質を持つのかを理解することをねらいにしています。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	第3、第4学期の木曜日午後・金曜日午後
オンライン対応可否	可

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-4
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	名波 彰子
講義テーマ	Presentation in English - On issues in the 21st Century
内容紹介	この授業では、幾人かのグループに分かれて、1990年代以降の国際問題について、受講生の間で英語でディスカッションをします。その後、その内容について英語でのプレゼンテーション・質疑応答をしてもらいます。評価は受講生の相互評価です。英語を用いて国際問題について話し合い、発表することに挑戦してみましょう。
必要な機材など	黒板、模造紙、セロテープ・マグネット、マジックペン *英語を用いた授業のため、受講生の語学力によっては高校の先生にお手伝いいただくがございます。
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-5
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	船津 靖
講義テーマ	【A】トランプ政権と国際社会 【B】大戦後80年：原爆と終戦
内容紹介	【A】 講義内容としては、①国際法を軽視するトランプ政権の外交全般、②ロシアのウクライナ侵略中心、③中東紛争中心、③対中・対日政策中心～などいろいろありえます。ご要望に柔軟に対応します。高校の授業に合わせて、トランプが否定する国連中心主義の基本を講義する選択もあります。【B】 80年前の1945年を第二次世界大戦の枠組みで考えます。米のマンハッタン計画、ポツダム宣言、広島・長崎原爆投下、ソ連参戦、日本降伏について講義します。
必要な機材など	ホワイトボードか黒板 視聴覚機材
出張講義可能日	月・水曜日、後期は金曜日
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-6
学科 / 職位	国際政治学科 教授
講師名	三上 貴教
講義テーマ	ディベート方式で考える国際政治の争点
内容紹介	大学の学びには、絶対的な正解はありません。国際社会に存在する諸問題についても、賛否が分かれるのが普通です。立場によっても捉え方が異なる問題にどう対処すれば良いのか。アプローチの一つの方法として、Pros(賛成)とCons(反対)の主張を三つずつ並べてみる(Arguments)ことを勧めます。さらにその根拠、証拠にまで踏み込んでみる。具体的な争点について、ディベート方式でアプローチしてみます。
必要な機材など	プロジェクター
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-7
学科 / 職位	国際政治学科 准教授
講師名	阿曾沼 春菜
講義テーマ	国際紛争を止めるには？——歴史的事例から考える国際紛争入門——
内容紹介	国際紛争のモデル・ケースを提示して紛争の解決策を受講者に考えてもらいます。その上で、歴史的な事例を引きながら、それぞれの紛争解決手段の利点と限界を解説し、国際紛争を解決するために考慮すべき点を考えます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン(パワーポイント使用)
出張講義可能日	月曜日、第1学期金曜日
オンライン対応可否	可

講義番号	G-8
学科 / 職位	国際政治学科 准教授
講師名	隅田 姿
講義テーマ	世界の教育開発と国際社会の取り組み
内容紹介	世界の教育状況は改善しているのか？もしそうであれば、どの国や地域で、どの程度良くなっているのか？また、国際社会は教育開発のためにどのような取り組みを行ってきたのか？本講座では、データを活用しながら、これらのテーマについてグループで分析・検討していきます。
必要な機材など	プロジェクターとスクリーン(パワーポイント使用・動画/音声を流します)、インターネットに繋がったスマートフォンやタブレット(受講生に調べものをしてもらいます)
出張講義可能日	月曜、火曜午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-9
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	澤 俊晴
講義テーマ	選挙の意味
内容紹介	投票に行くことの意味について、(1)団体とは、(2)団体の構成員、(3)団体の代表者、(4)独裁制・寡頭制、(5)民主制、(6)直接民主制と間接民主制の相違、(7)情報の自由な流通が重要、(8)選挙の4原則、(9)合理的投票仮説、(10)義務投票制(強制投票)の功罪といった項目で説明します。 また、環境が許せば、仮定の議題で投票をしてみます。 例) 議題(ゲーム規制、ごみ屋敷)⇒賛否投票⇒意見交換⇒再度賛否投票 意見交換を行うことで情報流通の重要性を認識してもらいます。
必要な機材など	プロジェクター
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-10
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	篠原 新
講義テーマ	戦後日本の政党政治
内容紹介	戦後日本の政党政治は大きく揺れ動いてきました。自民党と社会党の成立、自民党の長期政権、民主党による政権交代などを経て、今はまた自民党政権が続いています。こうした変化の背景には何があるのでしょうか。また、今後の日本政治はどのような変化を遂げていくのでしょうか。こうしたことについてできるだけわかりやすく説明します。
必要な機材など	パソコン、プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	前期水曜日
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-11
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	広本 政幸
講義テーマ	大学生の地域活動
内容紹介	地域のことを勉強している大学生は、実際に地域で活動して、地域への理解を深めています。地域で活動しているとしても、大学生は、社会人ほど、社会での経験を積んでいるとはいえません。慣れていないため、うまく活動できないこともあるはず。そんな大学生が、実際に、どんな活動を地域で行っていると思いますか。皆さんよりも少し年上の大学生の地域活動を知って、自分にできることをみつけてみては、どうでしょうか。
必要な機材など	パソコンのモニターを映写するプロジェクターとスクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	G-12
学科 / 職位	地域行政学科 教授
講師名	三浦 浩之
講義テーマ	ひととまちの関係性のデザイン
内容紹介	まちに暮らす一人ひとりが当事者(シビックエンゲージメント)となり、幸せ(ウェルビーイング)と誇り(シビックプライド)を実感できるまちづくりを目指すために不可欠な、まちと人々の創造的な関係性の構築について体験し、考えてもらいます。
必要な機材など	プロジェクターあるいはディスプレイ (希望はHDMIによる接続。音声を流すことがあります)、受講生にスマートフォンやタブレット(インターネットアクセス必要)
出張講義可能日	応相談(基本的に可能なのは、T1 木曜日の午後、T2 木曜日の午前、後期 木曜日の午前)
オンライン対応可否	可

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-13
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	木原 一郎
講義テーマ	グローバルな人材への第一歩
内容紹介	グローバルはグローバルとローカルを合わせた造語です。課題先進国である日本の社会においては、グローバルな人材が必要ではないかと考えます。なぜグローバルな人材が必要か、そしてどうしたらグローバルな人材になれるかを一緒に考えてみましょう。そして早速実践しましょう。
必要な機材など	プロジェクター
出張講義可能日	前期 火曜日午後、後期 金曜日午前
オンライン対応可否	可

講義番号	G-14
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	小須田 翔
講義テーマ	政治を哲学する
内容紹介	私たちは、誰もが自由で等しい価値を持つものとして生まれています。そんな私たちが持つべき社会のルールとはどのようなものでしょうか。政治哲学は、現実から一度距離を取って、理想的な社会のルールを考える学問です。そうすることで現実社会を見つめ直すための視点を得ます。講義では、自由で平等な人々が契約を結ぶとしたらどのような社会のルールを選ぶかを考える思考実験をします。
必要な機材など	プロジェクターまたはスクリーン
出張講義可能日	火曜日午後、水曜日、金曜日午後
オンライン対応可否	可

講義番号	G-15
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	矢野 秀徳
講義テーマ	「底抜け社会」ニッポン
内容紹介	日本は名目GDPでは世界3位の経済大国であると同時に、先進国ではアメリカに次いで第2位の貧困大国でもあります。生活を支える安全網(いわゆるセーフティネット)の機能不全も相まって、現代日本はいったん転落すると止まらない「底抜け社会」となっています。その原因は何で、どのような解決策が必要かを論じます。
必要な機材など	パソコン、プロジェクター(あるいはスクリーン)
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

## 国際コミュニティ学部

講義番号	G-16
学科 / 職位	地域行政学科 准教授
講師名	山中 雄次
講義テーマ	指定管理者制度の仕組みと運用
内容紹介	地方自治体が設置する公共施設(スポーツ施設、図書館、公民館など)の多くは、民間企業等が現場の運営を任めています。この根拠となる「指定管理者制度」について、基本的なルールや課題を説明します。皆さんの身近な施設について、深く理解するきっかけとしてください。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	水曜日午後
オンライン対応可否	不可

講義番号	G-17
学科 / 職位	国際コミュニティ学部 教授
講師名	TOWNSEND, Jana M.
講義テーマ	What is ELF: English as a Lingua Franca?
内容紹介	It is said that there are now more than 1 billion English speakers in the world, and that the majority of them have a first language other than English. How can we learn to communicate well in English with people from different language and cultural backgrounds? This interactive lesson offers some key points to think about as you study and use English in your high school years. (Easier English and some Japanese, if necessary, will be used.)
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード又は黒板
出張講義可能日	後期水曜日午後(第2水曜日を除く)
オンライン対応可否	

講義番号	G-18
学科 / 職位	国際コミュニティ学部 教授
講師名	HOY, Keith C.
講義テーマ	You, Japan and the World: Exploring your Global Community in English
内容紹介	This lesson focuses on getting students to actively use the communicative English skills they already possess to know more about themselves, their community, Japan and the rest of the world. In order to do this, students will engage in a number of speaking and listening activities involving pair and group work. These activities are designed to give students the confidence to effectively communicate with other speakers of English throughout the globe..
必要な機材など	プロジェクターとスクリーン、ホワイトボード
出張講義可能日	第3学期火曜日午後
オンライン対応可否	不可